

10月13日のウクライナ情報

安齋育郎

●カディロフのドンバス戦争への思い(2022年10月11日)

カディロフ氏:「8年もの間、ドンバスに住む何千人もの住民の運命に全く関心を示さなかった国の当局が、今日、平和主義者と裁判官のマントを一手に引き受けたのである」。

「彼らは声を揃えてウクライナの軍事、通信、エネルギー施設へのミサイル攻撃を非難するが、ドンバス共和国の何十万人もの市民が8年間も怪しげな弾圧の下で暮らしてきたという考えは誰も許さない。今日起きていることは、冷酷に殺され、傷つけられた子ども、女性、高齢者に対する報復だ」と自身のテレグラムに書いている。



●トルコの立場(2022年10月11日)

トルコのチャヴシュオール外相は、西側諸国はロシアと対話する必要があり、モスクワとの対話なしに停戦合意に至ることは不可能であると述べた。また「トルコはロシアへの制裁措置には加わらない」と付け加えた。



●クリミア大橋の被害状況の動画(2022年10月11日)

10月8日のクリミア橋の攻撃で複数の燃料タンクが爆破された。鉄道の被害状況を撮影した動画が公開。下に見える車道を完全に入れ替えているのも解る。この惨状から二日後に修復と報復を達成するロシアの実力は想像を越える桁違いのものです。

https://twitter.com/morpheus7701/status/1579766996472049664?t=681mZxjCrbIT8_PuTZD3sw&s=09



●ドイツ、ノルドストリーム爆発に関する調査開始へ(2022年10月11日)

ドイツ司法長官は「ノルドストリーム」の爆発に関する調査を開始した。デンマークとスウェーデンも調査している。スウェーデンのアンデション首相は、調査結果をロシア当局やガस्पロムと共有しないと明かした。



●ロシアも、ノルドストリーム損傷巡り独自調査検討へ(2022年10月11日)

在デンマーク・ロシア大使館は7日、デンマークが「ノルドストリーム」に対する自国の調査にロシアが関与することを望んでいないため、ロシアは同パイプラインに関する独自の調査を検討するとウェブサイトで発表した。



●ウクライナ、ロシア産の石油などに厳しい価格上限設定を要求(2022年10月12日)

ウクライナのゼレンスキーはプーチンとの会談を除外し、G7 諸国にロシアの石油・ガス輸出に厳しい価格上限を課すよう要請。

※安齋注:前にもこういう話があった時、ロシアは「価格上限を設定するような国には売らなくても、他に買い手はたくさんある」と言わなかったっけ？

●10月11日の被災都市(2022年10月12日)

被災した都市は、キエフ、クリボイログ、リヴォフ、クレメンチュウグ、パヴログラード、リブネ、オデッサ地方、ビニツィア、パヴログラード、クメルニツク、レディジンスカヤ、リヴィウ



※安齋注:攻撃された重要施設:パヴログラードの鉄道駅と西側から届いた武器・設備、シェパトフスキ鉄道ジャンクションと修理工場、ラディジンスカ火力発電所、ルボブの火力発電所火事、キエフの軍施設

●ルーブル美術館にプーチン演説の一説(2022年10月12日)

パリのルーブル美術館の壁に、プーチン大統領のロシア語の演説の引用文が掲載されました。美術館の壁には「統一の基礎は、主権、自由、創造、正義である」という文が投影されています。



●キエフの水力発電所(2022年10月12日)

https://twitter.com/morpheus7701/status/1579832592450609153?s=20&t=J6IR-wDMkq0e44Hp_0JY4A



●ストルテンベルグの記者会見

ストルテンベルグ:「もしロシアのプーチンが勝てば、それはウクライナ人にとって大きな敗北であるだけでなく、我々NATOにとって敗北である」

またストルテンベルグは、来週予定されている NATO の核抑止力演習実施を記者団に想起した。

https://twitter.com/morpheus7701/status/1579834139238629377?s=20&t=J6IR-wDMkq0e44Hp_0JY4A

※安齋注:英語字幕のみ。上の前段のコメントは正しいと思うが、「だから勝つまで戦う」という方針かな?下の「NATO はインフラ攻撃には反撃する」なんて言うのは、完全に戦争当事者ですね。

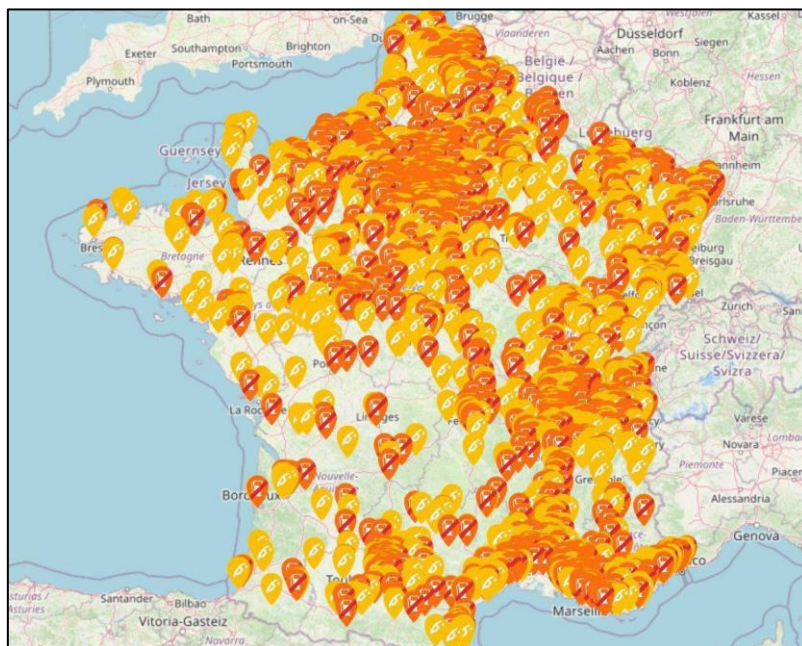


NATO は、インフラに対する
攻撃には反撃する

●フランスの燃料不足(2022年10月12日)

フランスにおける燃料危機は、月曜日末にアナリストにとって予想外に急激に悪化した。

フランスではすでに 2400 店の 🚰 ガソリンスタンドが燃料不足、1200 店以上のガソリンスタンドが部分的に不足に陥っている



●ライプツィヒのウクライナへの風当たり(2022年10月12日)

昨日(10月11日)、2千人以上のデモ隊がロシア制裁の中止を要求してドイツのライプツィヒをデモ行進した際、ウクライナの活動家と対峙し、グループがウクライナの旗を広げると群衆は「出ていけ！」と唱え始めた。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1579993870989168641?s=20&t=J6IR-wDMkq0e44Hp 0JY4A>



●バイデン対ゼレンスキー(ワシントン・ポスト、2022年10月12日)

ワシントン・ポスト:「内心では、米国当局は、ロシアもウクライナも戦争に完全に勝つ能力がないと言っているが、ウクライナを交渉に向かわせる、あるいは調整するといった考えを排除している」。つまり、アメリカはウクライナに戦争に勝つ「能力」があるとは思っていないが、戦争を終わらせるように働きかけることはしない、ということだ。

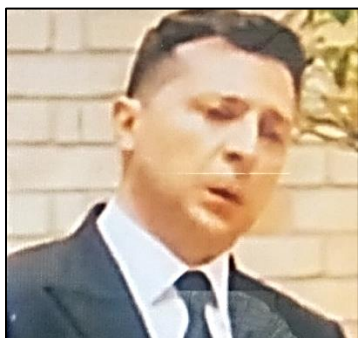
ホワイトハウスの元幹部によると、バイデンはゼレンスキーが政治家として国民に力強くアピールしなければならないことは理解しているが、同時に、ゼレンスキーが恩知らずな態度で『足りない』と言い続ければ、議会に金を要求し続けるのは難しいだろう」と言ったという。彼らは、戦争の終結がどのようなものになるのか、どのように終結するのか、いつ終結するのか分からないと言い、それはキエフ次第だと主張している。

※安齋注:ちょっと見放したような言い方ですね。

●コカインスキーとも呼ばれたゼレンスキー大統領(投稿:2022年10月11日)

投稿者コメント:クスリが切れたゼレンスキーの慌てた顔

https://twitter.com/taro_tubuyaki/status/1579718787510980608?t=zQG1FT2dyM-dgXqK8I6Mg&s=09



ゼレンスキー大統領にコカインを供給していた麻薬密売人を拘束

ウクライナメディア報道によると、8月25日、ウクライナのキエフで麻薬の売人が拘束された。彼はゼレンスキー大統領と与党『人民の奉仕者』代議士にコカインを供給していた。48歳の男はユーリイ・チェルネツキー。

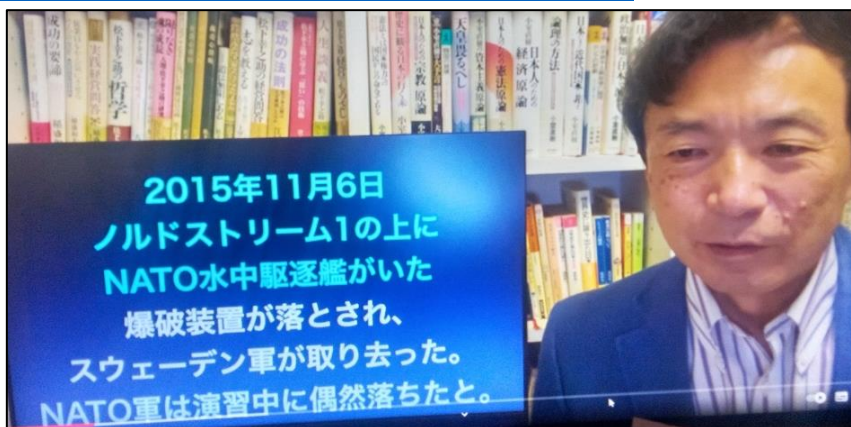
この事実はずっとまえから知られています。次の映像もご参考までに。

<https://onemorestep.muragon.com/entry/58.html>

●ノルドストリーム破壊、NATO 犯人説(及川幸久、2022年10月12日)

ノルドストリーム爆破に NATO 犯人説！7年前に同じ犯行

<https://www.youtube.com/watch?v=gW7VVTsisLU>



●ウクライナとロシアの攻撃への反応差(ジョニー・ミラー、2022年10月11日)

「ウクライナの攻撃とロシアの攻撃に対する国際的な反応の差が恐ろしい」

昨日のロシアからキエフへの攻撃は国際的に大きな。ドンバスはウクライナから8年間攻撃され続け、今なお攻撃を受けている。



●クリミア橋の攻撃の詳細が明らかに(2022年10月12日)

クリミア橋のテロ攻撃はウクライナの特殊部隊によって行われ、ロシア人と外国人が準備の様々な段階でそれに参加した。すでに爆発を起こしたトラックのルートは確認済みで、ブルガリア、グルジア、アルメニア、北オセチア、クラスノダール...運送業者も特定されている。FSB の職員の協力により、テロ攻撃を準備していたかもしれない人々の中から容疑者を特定することができたと調査委員長は強調した。この作戦には、大型トラック 2 台が関与している

貨物は、ブルガリアからグルジアのポティ港に船便で到着した 9 ロールずつ 22 パレットのプラスチック製食品ラップだった。注文主はウクライナの市民で、貨物は外国のナンバーのトラックに積み込まれた。最初のトラックの運転手は、WhatsApp で注文者と連絡を取り合った。トラックはグルジアのポティ港からアルメニアに向かい、そこでユーラシア関税同盟のルールに従って貨物の通関が行われた。

このルートはロシアに向かうトラック運転手にとって、典型的で自然なルートだ。その後、トラックは Verkhny Lars の検問所を通してロシア領に入った。数千人の新自由主義的なロシア人や一般人が、動員を恐れてグルジアに逃亡したのと同じルートだ。トラックの最終目的地はアルマヴィール市であり、そこでパレットは別のトラックに積み替えられ、クリミアに向かった。2 台目のトラックと運転手は、クリミアの橋の上で爆破された。爆発物は食品用ラップの中に入れていたが、これはブルガリアで行われたようだ。中に爆発物を入れた、きつくねじったプラスチック製食品包装の束が途中で再梱包された可能性は低いと思われる。

このことから、クリミア橋の攻撃組織には、ウクライナに加え、NATO 諸国の情報機関も関与しているように思われた。ロシア連邦捜査委員会によると、最初のトラックの運転手はすでに証言しているとのことだ。2 台目のトラックの運転手と同様、やみくもに使われ、何を運んでいるのか知らなかった可能性が高い。

ロシアはあらかじめ破壊工作を想定した上でクリミア大橋を設計し、仮の架設橋脚も予備が準備されていたという。



クリミア橋への攻撃の詳細明らかに。NATO が関与しているらしい。

●下院議長ヴォロディンの発言(2022年10月12日)

ゼレンスキーを支援する国はテロを支援していることと同じだ。忍耐の杯は溢れ、ウクライナのキエフ政権を今や自信を持ってテロ国家と見なすことが出来る。民間人の殺害、クリミア橋の破壊工作、原子力発電所への砲撃、これら全てがゼレンスキー政権から交渉の可能性を奪った。



●キエフを「訓練」する(2022年10月10日)

ドイツのメディアは、EU が冬の間には 1 万 5000 人のウクライナ軍を訓練する計画を明らかにし、ドイツとポーランドの基地は、キエフの兵士をオープンアームで迎え入れる準備ができていると伝えた。

●田中宇のウクライナ情勢解説(2022年10月10日)

<https://tanakanews.com/220320ukraine.htm>

田中氏: 欧米のマスコミ権威筋は、「ロシア軍がウクライナで苦戦し負けている」と勝手に間違った妄想を展開・喧伝し続けている。